2-1-1 教員の学位や業績

【次世代教育学部】

こども発達学科	名前(読み)	中井　和弥　（なかい　かずや）
	職　名	講師
	取得学位	修士（文学）
	専門分野 研究領域	臨床心理学、実験心理学、教育心理学
	担当授業	「保育の心理学」「子ども家庭支援の心理学」「子どもの理解と援助」他
	研究業績	【論文】 1. 中井（松尾）和弥・高橋百合子「安全感のプライミングが肯定的・否定的感情に及ぼす影響」『豊岡短期大学論集』第 17 号, 2021, 261-269. 2. 中井（松尾）和弥・福井義一「小児期逆境経験が身体症状による負担感に及ぼす影響―愛着スタイルを媒介変数として―」『心身医学』第 61 巻, 2021, pp. 186-194. 3. 中井（松尾）和弥・福井義一「小児期逆境経験が抑うつ・不安症状に及ぼす影響―愛着スタイルを媒介変数として―」『精神療法』第 46 巻, 2020, pp. 77-86. 4. 松尾和弥・福井義一「被虐待経験が対人ライフイベントに及ぼす影響―愛着スタイルの媒介効果の検討―」『子ども虐待とネグレクト』第 22 巻, 2020, pp. 88-94. 5. 松尾和弥・福井義一「被虐待経験と愛着スタイルが表情の情動認知に及ぼす影響 ―二つの異なる情動を含んだ表情刺激を用いた検討―」『甲南大学紀要文学編』第 170 号, 2020, pp. 131-137. 6. 大浦真一・松尾和弥・福井義一「被虐待経験は本当に共感性を低下させるのか？―愛着の内的作業モデルを媒介変数として―」『健康心理学研究』第 32 号, 2020, pp. 127-134. 7. 松尾和弥・福井義一「被虐待経験と心身の健康――被虐待経験と内的作業モデルが表情認知に及ぼす影響――」『健康心理学研究』第 32 号, 2020, pp. 117-125. 8. 松尾和弥・島 義弘・武儀山珠美・大浦真一・福井義一「社会的コンピテンスの認知的側面と情動的側面が社会的スキルに及ぼす影響―表情の情動認知課題と自記式尺度を用いて―」『心の危機と臨床の知』第 20 巻, 2019, pp. 59-71. 9. 大浦真一・松尾和弥・福井義一「愛着の顕在・潜在的内的作業モデルが対人スキルと社会適応に及ぼす影響ー潜在連合テストを用いた検討ー」『甲南大学紀要文学編』第 168 巻, 2018, pp. 135-153. 10. 大浦真一・松尾和弥・福井義一「紙筆版催眠シングル・ターゲット潜在連合テストの開発―催眠への意識的・非意識的態度と催眠に対するイメージの関連―」『臨床催眠学』第 19 巻, 2018, pp. 40-50. 11. 福井義一・松尾和弥・大浦真一「被虐待経験と不安定愛着が情動調整不全を介して心身の不健康や不適応に及ぼす影響ー青年期を対象とした大規模調査（CAASK2）の概要ー」『甲南大学紀要文学編』第 167 号, 2017, pp. 71-94.
	所属学会 学会活動	関西心理学会、日本心理臨床学会、日本心理学会、日本感情心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本心身医学会、日本社会心理学会、日本子ども虐待防止学会、日本保育学会
	社会貢献	1. 「マインドフルネス入門」　うつからの復職・再就職セミナー　職場や生活で役立つ心の整え方 ～セルフケア入門～（NPO 法人日本学び協会　就労移行支援　ワンモア三宮, 2017 年 9 月）